

神道の秘法「十種神宝」

呪物

呪物…自分を守るもの。

不幸を退け、幸運を招くラッキーアイテム

昨今、SNS等の普及で様々なありとあらゆる情報を受け取ることが機会が多くあります。

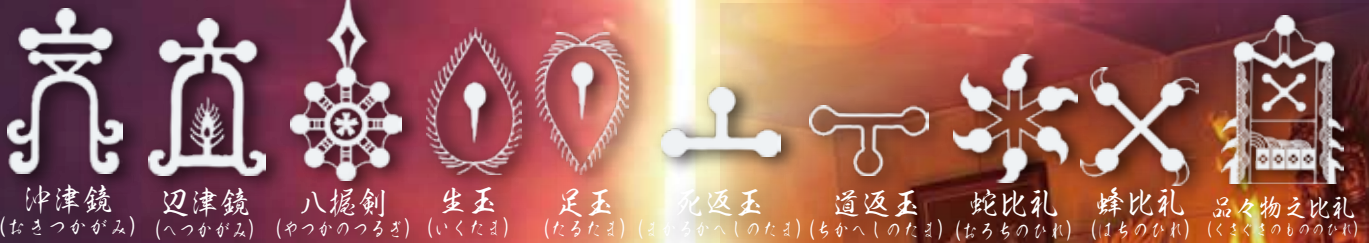
実はそこから自然と『念』を受けます。

相手と同じ気持ちになります。

いい悪いにかかわらず、五感を超えて伝わり、同じ想念、気持ちを持ちます。

SNS等では、発信するよりも、受けとる量が膨大に多いのが現状です。

影響を受けないために、**防御、バリア**をはる必要があります。



とくさのかんだから

十種神宝とは？

十種神宝は、「古事記」「日本書紀」と並ぶ史書「先代旧事本紀」に、天璽瑞宝十種(あまつしるしみずかからとくさ)という名称で登場する、
 霊力を宿した十種類の神の宝のことです。
 その霊力はすさまじく、国家の隆盛も滅亡も操作できるほどの霊力が備わった神器であるとされています。



御霊入れ

十種神宝ペンダントは、物部神道家の道幸武久氏により、1個1個御霊入れを行っております。
 御霊入れをする事により効力がマークに宿り力を貸して後押しを。



十種神宝の効力

- 『沖津鏡』…高い所に置く鏡。太陽の分霊とも言われる。裏面には掬が彫られている、いわば道しるべ。
- 『辺津鏡』…いつも周辺に置く鏡。顔を映して生氣・邪気の判断を行う。
フツと息を吹きかけて磨くことが、自己の研鑽につながる。
- 『八握剣』…国家の安泰を願うための神剣。悪霊を祓うことができる。
- 『生玉』…願いを神に託したり、神の言葉を受け取ったりするとき、この玉を持つ。神の言葉が心で聞ける。
神と人をつなぐ神人合一のための光の玉。
- 『足玉』…全ての願いをかなえる玉。この玉を左手に載せ、右手に八握剣を持ち、国家の繁栄を願う。
- 『死返玉』…死者を蘇らせることができる玉。左胸の上に置き、手をかざして呪文を唱え由良由良と回す。
- 『道返玉』…へソ上一寸のところに置き、手をかざしながら呪文を唱える。悪霊封じ・悪霊退散。
- 『蛇比礼』…魔除けの布。もともとは、古代鑪製鉄の神事で、溶鋼から下半身を守るための前掛け。
のちに、地から這い出して来る邪霊から身を守るための神器となった。毒蛇に遭遇したときにも使用する。
- 『蜂比礼』…魔除けの布。振ったり身を隠したりして、天空からの邪霊から身を守る。
または、邪霊や不浄なものの上にかぶせて魔を封じ込める。
- 『品々物之比礼』…物部の比礼。ここに物を置くと品々が清められる。死人や病人をこの比礼を敷いて寝かせて、死返玉により蘇生術を施す。また魔物から、大切な品々を隠すときにも使う。

呪物…自分を守るもの。
不幸を退け、幸運を招くラッキーアイテム



沖津鏡は未来を見通し、生玉は生きる力（希望）を与え、死返玉は甦る力を与える。
まさに、『**願いを叶える力**』

足玉は五体満足、健康を意味し、蜂比礼は魔を封じ込め、道返玉は悪霊退散の力を与える。
まさに、『**守れる力**』

- 各販売価格：40,590円（税込）
- 商品コード：「願 GAN」MD1003、「守 SHU」MD1002
- 商品サイズ：「願 GAN」ステンレス製チェーン 55 cm 「守 SHU」麻紐チェーン 55 cm
- 各重量：ペンダント 15g

十種神宝ペンダント

お問合せ先